

## 鍼灸科

## 解剖学5

対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大下裕之			実務経験	有	職種	鍼灸師				

## 授業概要

臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の構造を機能面も含め総合的に学びます。

## 到達目標

鍼灸の学習を進めるうえで必要な解剖学的知識を習得する。医療の基礎となる用語を理解し身につけることが必要となる。そのうえで人体の各部の構造的特徴を学び人体に対しての理解を深める。人体の外見から推測できる構造から始まり、体内臓器の理解へと進み、体の内外の構造を立体的に把握し全体の深い理解につなげる。

## 授業方法

本授業では1、2年で獲得した人体の構造に関する知識を基に、より詳細な内容まで言及し、臨床に役立つような解剖学的知識を教授する。また、国家試験に直結する知識に関しての定着を行えるように過去の国家試験問題を解きながら知識を蓄積していく。

## 成績評価方法

中間試験・期末試験で評価する

## 履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

## 教科書教材

東洋療法学校協会指定教科書

回数	授業計画
第1回	神経
第2回	神経
第3回	神経

第4回	神経
第5回	神経
第6回	筋肉
第7回	筋肉
第8回	消化器系
第9回	呼吸器系
第10回	循環器系
第11回	泌尿器系
第12回	内分泌
第13回	感覺器
第14回	生殖器
第15回	まとめ